



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイロ ---- 優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドウ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践 --- 宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる --- 平成21年6月3日
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ/代表理事

- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J〜Jを長野にーいよいよ地域決勝大会!〜 平成22年10月25日
講師/鈴木政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)

- 第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者

- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役

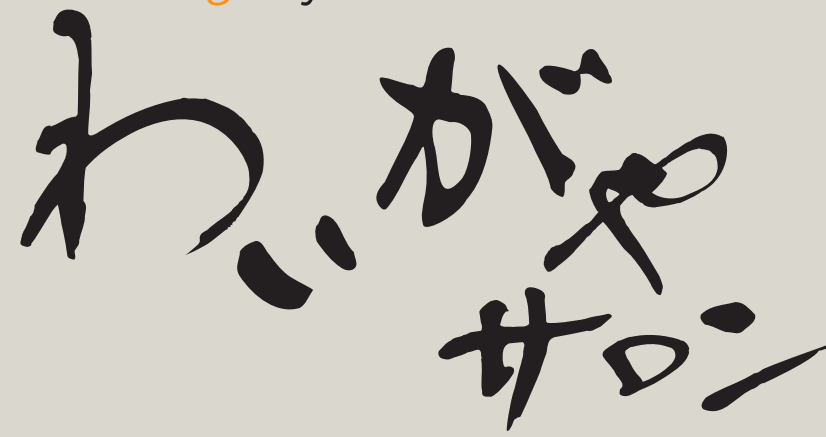
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭

- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務




 Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人 長野都市経営研究所
 〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
 www.nupri.or.jp
 e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 36
2012.5



第36回

すべてが一丸となって「ながのの宝もの」をJへ

平成24年4月24日(火) 18:00~20:00

講師／薩川了洋さん AC長野パルセイロ監督

■座長 岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911

春爛漫。長野市中の花々、桜が満開になった宵のサロンにお招きしたのはAC長野パルセイロ監督の薩川了洋さん。これまでコーチ就任の年(2008年10月)、監督就任早々(2009年3月)お話をいただき、3回目の登場となった今回は――2012シーズンがスタートしてJFL17チーム中トップで快進撃中。進行役は鈴木隆治理事です。

父から受けた恩恵

鈴木 最初にお会いしたのはバドゥ監督のお別れ会です。瞬間的に、この男はいい!残るとしたら応援していこうと思いました。心底、明るくて熱い(長野には少ないタイプ!?)のは清水(現・静岡市)で生まれたからなのか、ご両親の影響ですか?

薩川 父は口数少なく、母親が喋って明るいタイプ。家業は婦人服の販売店で、父は赤ん坊だった妹をおぶって、飯も作れば洗濯もしていました。

出身地興津は目の前が海で裏は山という地形です。親父の素潜りは凄かった。心配するくらい長く潜って、上がってくると両手にサザエやアワビ! 母親の実家の山畑でみかんや茶、野菜作りもするし、自然薯掘りも得意。自分がプロになって家から出たとき初めて、買えば高い、超新鮮なものを食べさせてもらっていたんだ。海のこと、山のことだけでなく、いろいろなことを父に教わったんだ、と分かりましたね。

鈴木 親父さんもサッカーやっていたんですか?

薩川 いや。でも清水は町中サッカー一色で家の裏にもグラウンドがあったんです。私は幼稚園からサッカーをやっていて結構うまかった。小学生のとき試合後に遊んでいたら「(PK外したのに)よく遊んでいられるな。俺がいいと言うまでPKやっつろ!」。あれこれ言わなければ「1日休めば3日遅れるぞ」と努力することに関してはうるさかったです。

そんな親父からサッカーを「やめてくれ」と言われたことがあった。家の商売に関わるらしかったんです。そのとき、兄の担任(サッカー部顧問)が父に「やめさせないでくれ」と頼みに来られて、続けられることになった。先生にも父にも感謝しています。



「Run All」が2012のチームスローガン。監督は「パルセイロでつなぐサッカーを6年続けてきて、それが今シーズン(4/24現在)のJFL単独首位、負けなしの裏づけになっている」と語った



指導者ありき

薩川 中学時代に指導者がいかに重要かという経験をしました。小6、中1と、県大会で1位をとるほど強いクラブだったのですが、2年になったら勝てなくなった。なぜかという、指導してくれる先生が転勤して誰もいなくなって、僕らはプロレスしたり、みかん山で遊んだり(笑)。3年になって先生が来てくれたら一気に県で2位になった。子ども心に大事なものは指導者だ、と思いましたね。

鈴木 プロ入りして名監督・加茂周さんの指導を仰げたわけですが、どんな方なんですか。

薩川 オーラもっているんですね。加茂さんでも日本代表監督ができるなら僕でもできる

のではないかと!と思わせてしまうような天然、だけど天才。試合前にゾーンプレスだけして、後はコーチに任す。でもそれは、日頃から選手のふるまいをよく見て性格や特徴を把握してから出来ること。コーチもチームも監督と一心同体だと我々に思わせた。今パルセイロが好調なのも、コーチはじめスタッフのコミュニケーションがいいからです。

鈴木 指導者によって選手もチームも変わることを身をもって知ってきた。

薩川 ですから柏レイソルで現役引退してコーチ、そしてレイソル・ジュニアサッカー教室の指導役を受けるのに迷いはありませんでした。

自分で自分にプレッシャーをかける

鈴木 AC長野パルセイロに来るきっかけは?

薩川 レイソルのサッカースクールを長野で開催するというので来長した前夜、パルセイロとの懇親会があったんです。そのとき「プロはそんなに甘くないよ」と駄目出ししたらしい。それで「コーチに」と名前が挙がったようです。実は神戸からも選手として続けて欲しいとオファーが来ていましたが、先ほど言ったように若手指導の魅力のほうが勝ち、嫁にも相談せず決めました。

鈴木 以後、いいかたちで来ています。

薩川 「バドゥ監督の下でやってくれ」と言われた際に練習させてもらって、1年でJFLに上げられる手応えを感じた。「上がれないならやめます」と宣言。バドゥの帰国意志が強くなって監督を打診されたときも「成績が出なかったらやめます」。常に自分で自分にプレッシャーかけてきた。

鈴木 それで見事JFLに上がって2位にしてくれました。

薩川 想定外だったんですけどね(笑)。

サッカーも会社も社会も同じ

鈴木 そういう監督だから選手もついてくる。

薩川 サッカーは11人しか先発がいませんから、出られない14人はサツカワの野郎!と思っていますよ。上の連中は自分を評価してくれない、と思う選手は伸びない。選ばれなかったら、まずやらなくてはいけないことはどうやったら自分を使ってくれるのかアピールすること。監督が自分に求めているのは何なんだ?と自身に問う。

会場 会社における自分、社会における個人にも言えそうですね。

薩川 自分の場合は15年プロにいて、監督は12人変わっている。身長173センチのDFが出来ることは何か。身長・技量のあるなしに限らず、J1もどこも同じ大きさを同じ歯車で回るのなら走るのだと悟った。それも一人で突っ走って一人でゴールに蹴るんでなくて、つなげる。選手たちには生き抜いていくには何が自分に出来るのか、意識してプレーさせています。

会場 (頷く)

ながのの宝物

鈴木 パルセイロは「ながのの宝物」。F2に上がった松本山雅の羨ましいところはサポーター動員数ですが、長野も少しずつ盛り上がりを見せ、動員数も目標にあと少しです。

薩川 地域リーグの頃とは選手もサポーターの皆さんも雰囲気違って来た。選手たちは山雅より成績が上だったことにプライドも持っているし、実際、山雅よりつなぐサッカーになっている。結果を出しますから、バックアップをよろしくお願いします!!

NUPRIの今年のテーマは観光。「監督がみる長野観光のウリは?」の問いに「善光寺。駅からまっすぐ歩いていけて、あんな大きくて、いいお寺はほかにない!」と即答してくれました。善光寺、パルセイロ……長野にある宝物を大事にしていましょ。



さつかわ のりひろ 静岡県出身。横浜フリューゲルス、柏レイソルの名DFとして活躍後、柏レのコーチに。AC長野パルセイロには2008年より関わる

